



満開の八重紅枝垂（石川県林業試験場 樹木公園）

CONTENTS

- 第58回通常総会
- 第3回理事会・監事会
- 土地改良事業功労者表彰
- 全土連第58回通常総会
- 全土連第57回功労者表彰
- 換地計画実務研修
- 加賀三湖小水力発電所竣工式
- 第39回全国土地改良大会（石川大会）
- いしかわ多面的機能発揮推進組織だより（符津地区資源保全会）
- 21創造運動いしかわだより（河北潟水土里ネットかんたく）
- 人事異動
- 連合会事務局機構図
- 連合会日誌（1月～3月行事）
- 農業基盤整備資金の金利改定について

第58回 通常総会を開催

本会は3月23日、第58回通常総会を石川県土地改良会館で開催した。

総会には会員89団体が出席、来賓として石川県から谷本正憲知事、棗左登志農林水産部長、前川久義農業基盤課長、北陸農政局から小林厚司局長、冨田晋司設計課長、県議会からは谷内律夫副議長の臨席を賜った。

西村会長は、開会挨拶で「2年余りにわたる厳しい交渉が続いたTPP協定交渉が、この2月には参加12ヶ国が協定署名し『農政新時代』とも言うべき新たな段階へ進もうとしている。このような中、去年は、本会を含めた全国の水土里ネット関係者が一致団結した要請活動の結果、補正予算の大幅な伸びを確保できた。引き続き、29年度予算の確保等に積極的に取り組んでいく」と表明した。

また、全国に向けて農業農村整備の役割と重要性を広くアピールするとともに、石川県の魅力を発信する「第39回全国土地改良大会石川大会」が10月25日に開催されることから、大会の成功に向け協力をお願いした。

その後土地改良事業功労者表彰が行われ、2団体9個人が表彰された(次頁掲載)。引き続き、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露の後、鶴来土地改良区理事長中村滋氏を議長に選出して議事に入った。



開会挨拶をする西村会長



来賓挨拶をする谷本県知事

議案として上程した平成26年度事業報告・収支決算及び財産目録のほか議案6件が可決承認された。

第3回理事会・監事会を開催

2月23日に平成27年度第3回理事会が石川農林会館において開催され、平成27年度事業中間報告、第58回通常総会提出議案等について慎重に審議がなされた。

また、理事会に先立って2月18日本年度第3回監事会が土地改良会館で開催され、平成27年度業務等についての中間監査が行われた。

土地改良事業功労者表彰

第58回通常総会において、土地改良事業に関して功績顕著で他の模範となる2団体並びに永年土地改良事業に貢献のあった9個人に対し、西村会長から表彰状と記念品が贈られその功績を称えた。



○ 土地改良事業功労者表彰受賞者 (順不同・敬称略)

【団体の部】 (2団体)

直下地区事業推進協議会 (会長 山下 與一)
下井田ほ場整備組合 (組合長 村田 昭一)

【個人の部】 (9名)

山田 健一	菅谷土地改良区代表監事	市原 俊廣	大場土地改良区理事長
北本 修一	能美市土地改良区理事	町村 源蔵	花園土地改良区理事
吉田 則明	宮竹用水土地改良区理事	若松 清一	内灘町地域振興課農林係総括主査
川崎 正憲	美川土地改良区理事	中江 大作	輪島市土地改良区理事
中山 久美男	美川土地改良区理事		

決議

農業農村は、国の大本であり、豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であつて初めて維持されるものである。このため先人たちは、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水路など地域資源の維持向上に向け、献身的な努力を続けてきた。しかし、農業・農村においては、依然として、過疎化、高齢化、担い手不足さらには人口減少に伴う地域活力の低下等に加え、コメを巡る状況も厳しさを増すなど課題が山積している。こうした状況の下、政府は「地方創生」、「農業の競争力強化」、「国土の強靱化」等の政策の実現に向け、種々の施策を展開しているところである。

一方、農業農村整備の安定的・計画的な事業を執行するための当初予算は、平成二十五年以降回復基調にあるものの、持続可能な強い農業の実現のためには、農地の大区画化、施設の長寿命化、防災・減災対策等への取組みが重要であり、そのための予算は未だ十分とは言えない。

我々、水士里ネットは、地域資源である「水」と「土」、「里」を守り、育み、農業・農村を下支えする土地改良事業が、地域に密着した真に必要な事業であることを強く訴えるとともに、農業・農村の持続的な発展と活性化の推進に向け、引き続き必要予算の確保と、左記事項の実現を総会の名において決議する。

記

一 TPPの大筋合意を踏まえ、国内の農業生産に影響の出ないよう、農業の生産効率を高め競争力強化を図る上で不可欠な、ほ場の大区画化や汎用化等の基盤整備の実施と、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化を推進すること

一 頻発する地震・集中豪雨等の自然災害は、農業のみならず地域住民の生活をも脅かすことから、農業水利施設の有効活用を図るための効率的な機能保持に向けて長寿命化・耐震対策・洪水被害防止対策への取組みとストックマネジメントを推進すること

一 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮と地域の協働力を活かした地域ぐるみの活動を適切に支援し、地域資源の保全・活用に重要な役割を果たす多面的機能を支払を推進すること

一 農業用水等農村地域の再生利用可能エネルギーを有効活用する発電の促進は、土地改良施設の維持管理費の負担軽減に資することから、小水力等発電施設整備を推進すること

一 昨年六月に閣議決定した「骨太の方針」に明記されている「土地改良事業の一層の推進」を図るため、農業農村整備と農業・農村の更なる発展に向けて開催する第三十九回全国土地改良大会石川大会の成功に一致団結して取り組むこと

平成二十八年三月二十三日

石川県土地改良事業団体連合会
第五十八回通常総会

全土連第58回通常総会が開催される

3月25日、全国水土里ネットの第58回通常総会が、都市センターホテル（東京都千代田区平河町）3階コスモスホールにおいて開催された。

まず、二階全土連会長が挨拶を述べ、岩手県土連の及川正和会長が議長に選出され議事に入った。

提出議案は平成26年度決算、平成27年度中間報告及び補正予算、28年度当初予算など予算関連・事業計画他の11議案が上程され、いずれも満場一致で可決承認された。

なお、今年度予算には、10月25日に本県で開催される、全国土地改良大会石川大会の予算も計上されており、大会開催に向けての準備態勢が着実に整うこととなった。



挨拶をする二階会長



全土連第57回功労者表彰

3月25日、全国土地改良事業団体連合会の第57回土地改良功労者表彰が、総会終了後に東京都千代田区平河町のシェーンバツハ・サポーにおいて開催され、本県からは2個人が全土連会長表彰を受賞した。

【個人の部】

職員 今川 博嗣（松任土地改良区事務局長）

職員 畔地 勇夫（前宮竹用水土地改良区事務局長）



今川 博嗣 氏



畔地 勇夫 氏



換地計画実務研修を開催

石川県換地センターは、1月29日、石川農林会館において平成27年度換地計画実務研修を開催した。この研修は、水土総合強化推進事業の実施要綱、同要領により換地事務の促進に資することを目的として、換地事務に従事している換地技術者等を対象としている。

本年度は県、市町、土地改良区、県土連の職員合わせて21名が参加し、換地計画作成実務に加え、石川県公共嘱託登記司法書士協会から、相続代位登記における複雑な権利関係の処理方法、石川県から換地理論に関する講義が行われ、参加者は熱心に受講し、換地業務への理解を深めた。

研修カリキュラムは次のとおり。



講義内容	講師
相続代位登記に際し相続人が行方不明や不存在あるいは成年被後見人等の場合どのように対処すべきか	石川県公共嘱託登記司法書士協会 副理事長 中村 誠 宏志 専務理事 宮村 尚 志
換地清算金について	石川県土地改良事業団体連合会 事業部換地課 担当課長 高 明 人
換地理論について	石川県農林水産部農業基盤課 主事 誉 田 純 一
換地計画作成実務	石川県土地改良事業団体連合会 事業部換地課 課長 菱 村 忠

加賀三湖発電所竣工式

3月30日、加賀三湖土地改良区が整備した「加賀三湖発電所」の竣工式が小松市千木野町で行われ、局、県、市、本会、地元関係者など関係者約50名が完成を祝った。

この発電所は、同土地改良区が整備した初めての施設で、用水の水量と落差を利用して水車を回し発電する。最大出力は89キロワット、年間発電量は標準家庭120世帯分に相当する約56万キロワット／時で、全量を北陸電力に売電する。

なお、売電収入は農業用施設の管理費に充てることとしている。



【事業概要】

- 使用水量：0.99m³/s
- 有効落差：12.8m
- 年間売電電力量：56万kwh
- 最大出力：89kw
- 事業費：199,000千円
- 工期：平成26年度～平成27年度

第39回全国土地改良大会（石川大会）



実施要領

開催趣旨

この大会は、農業農村整備に関わる全国の関係者が一堂に会し、「農業・農村の重要性」とそれを下支えする「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールするとともに、新たな農業の展開方向に即し、改めて農業農村整備の使命を再認識し、我々関係者の総力を挙げて、我が国の農業・農村の更なる発展を目的として開催するもの。

開催日及び会場

式典 平成28年10月25日（火） 13:00
※12:20よりオープニングセレモニー
会場：いしかわ総合スポーツセンター

交歓会 平成28年10月25日（火） 17:00
会場：ホテル日航金沢

事業視察 平成28年10月26日（水）
会場：石川県内

参加者

全国の農業農村整備事業関係者等
約3,000名（予定）

主催

全国土地改良事業団体連合会
石川県土地改良事業団体連合会

後援

農林水産省、石川県、石川県議会、金沢市、
石川県市長会、石川県町長会、
石川県農業農村整備事業推進協議会

大会式典

土地改良事業功績者表彰、基調講演、
基調報告、優良活動事例
大会宣言、次期開催県引き継ぎ等



記念行事

- ・大会オープニングセレモニー
- ・石川県紹介ビデオ放映
- ・交歓会（歓迎レセプション）

併催行事

- ・農業・農村のパネル展
- ・石川県の特産品の展示・販売コーナー 他
- ・石川県の市町コーナー
- ・次期開催地「静岡県」コーナー

事業視察

平成28年10月26日（水）
県内の先進的な国営、県営事業等の事業視察

【お問い合わせ先】

全国土地改良大会石川大会 大会事務局

TEL：076-249-9910（直通）
FAX：076-249-9912
mail：39ishikawa@midori-net.jp

地域一丸となつての取組み

●●● 符津地区資源保全会(南加賀支部) ●●●

符津地区資源保全会は、県の西南部に位置する小松市符津町を中心とした活動組織で、霊峰白山を望む木場潟のほとりに4,978aの農地を有している。

活動の中心は、符津町生産組合、町内会、公民館、婦人会、白寿会(老人会)など地域の会員470名で、地元小学校での田植えや稲刈り体験、定期的な農地周りの草刈り等を

行っている。このほか、昨年5月に天皇両陛下をお迎えして木場潟で行われた「第66回全国植樹祭」の開催に際し、花壇を整備するとともに、公園に隣接する水路清掃などを実施した。

今後も、地域住民が一体となり、地域資源の保全に取り組んでいくこととしている。



小松市立符津小学校での活動



農地周りの草刈り

“21創造運動”いしかわだより

河北潟干拓地で一斉清掃、植樹

●●● 河北潟水土里ネットかんたく ●●●

3月15日、河北潟水土里ネットかんたくは、河北潟干拓地区管理体制整備推進協議会、グリーン・アース農地・水・環境保全組織(事務局：河北潟水土里ネットかんたく)と共催で河北潟干拓地の一斉清掃を行った。

これは、干拓地の道路沿いにゴミや空き缶、古タイヤ、テレビ、冷蔵庫といった大型家電等の放棄があとを絶たないことから、環境保全の一環として毎年実施しているもの

で、干拓地農家や県、市町、本会の職員など150名が参加し、5トンのゴミを收拾した。

また、3月12日には干拓地湖東の防風林帯において、景観対策のため、参加者100名がヤブツバキ、ムクゲ、ヒメヤシヤブキ、エノキなどの苗木400本の植樹作業に汗を流した。



清掃作業



植樹作業

人事異動

○農林水産省 農村振興局 (新)

平成28年4月1日付

総務課	課長	石垣英司
農村政策部	都市農村交流課 課長	原川忠典
整備部	土地改良企画課 課長	山口潤一郎
同	地域整備課 課長	宮崎敏行
農村政策部	農村計画課 農村政策推進室長	西経子
同	地域振興課 日本型直接支払室長	加藤貴司
同	都市農村交流課 都市農業室長	水野秀信
整備部	設計課 計画調整室長	安部伸治
同	水資源課 農業用水対策室長	清野哲生

○北陸農政局 (新)

平成28年4月1日付

農村振興部	部長	柏原卓司
企画調整室	室長	田中龍太
地方参事官 (事業計画担当)		伊佐寛
地方参事官 (石川支局長)		鹿糠幸夫
農村振興部	農村計画課 課長	赤堀益男
同	事業計画課 課長	石橋正之
同	水利整備課 課長	家元隆佳
		伊藤光弘

【石川県新体制】

平成28年4月1日付

農林水産部	部長	中田峰示	
	次長 (総括・事務担当)	新谷和幸	
	次長 (農業土木担当)	前寺清一	
里山振興室	室長	西川透	
農業基盤課	課長	前川久義	担当課長
	担当課長 (里山振興担当)	北出一郎	(事業監理担当) 古西 広
農業政策課技術管理室	室長	道下真也	担当課長 角村勝久
南加賀農林総合事務所	所長	道下和夫	土地改良部長 三浦正幸
石川農林総合事務所	所長	山下吉明	土地改良部長 川崎義郎
県央農林総合事務所	所長	奥本勉	土地改良部長 鶴見正樹
中能登農林総合事務所	所長	美作多加志	土地改良部長 石垣広男
奥能登農林総合事務所	所長	宮田茂之	土地改良部長 白池秀紀
羽咋農林事務所	所長	米田和正	
大日川ダム管理事務所	所長	矢来正巳	

【本会新規採用者の紹介】

平成28年4月1日付



氏名 やま ぎし こう や
山 岸 航 也
所属 事業部設計課
出身校 三重大学生物資源学部共生環境学科

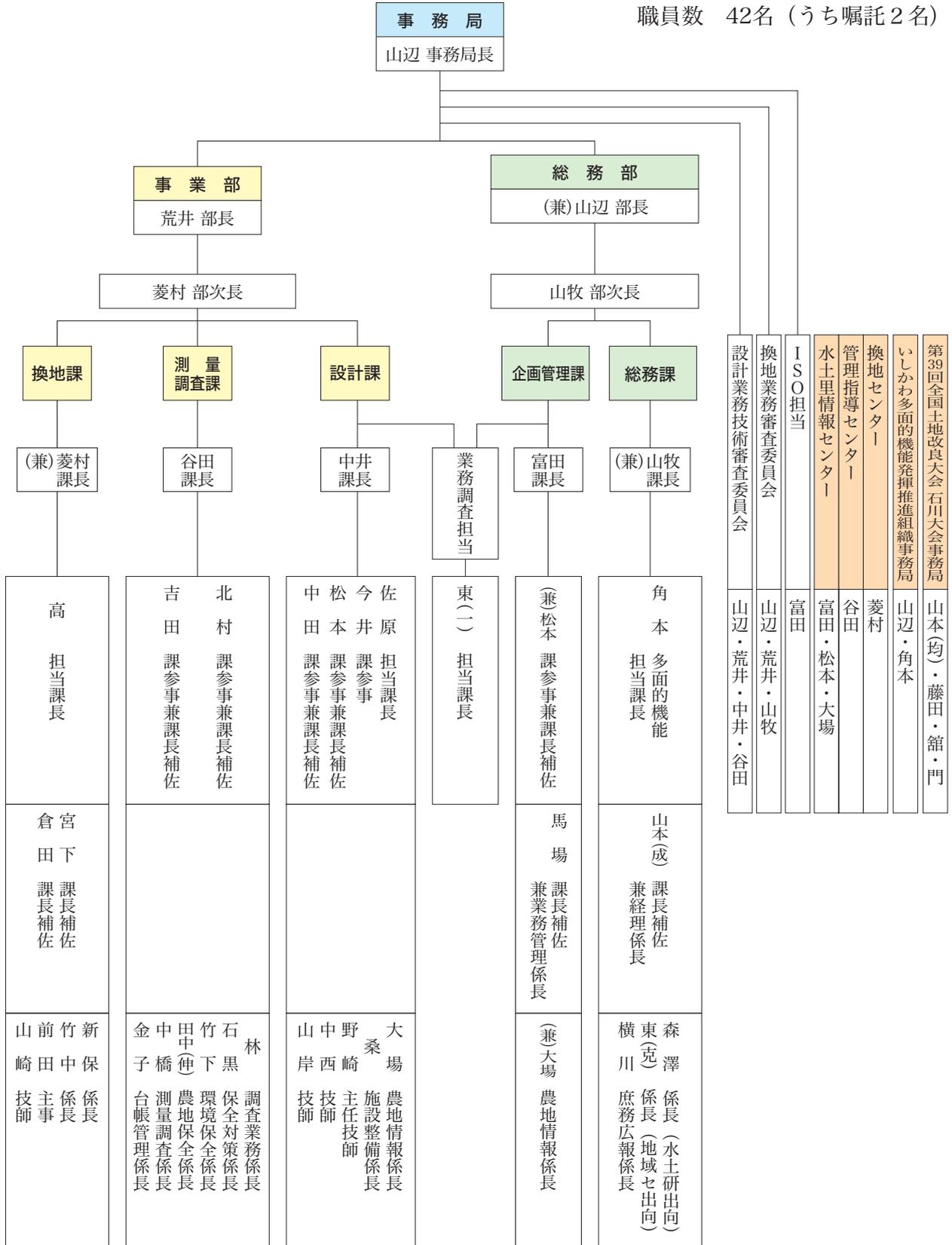


氏名 やま さき ゆう き
山 崎 裕 貴
所属 事業部換地課
出身校 石川県立大学生物資源環境学部環境科学科

平成28年度石川県土地改良事業団体連合会 事務局機構図

平成28年4月1日現在

職員数 42名（うち嘱託2名）



連合会日誌

1月

- 13日 能登地域における農業農村の変化に関する調査業務打合せ (東京都)
- 14日 石川県経営構造対策事業推進委員会並びにコンダクターとの合同会議・研修会 (中能登農林)
- 同日 平成27年度農業集落排水事業推進研修会 (東京都)
- 同日 農政新時代キャラバン北陸ブロック説明会 (地場産センター)
- 18日 都道府県水土里ネット会長等会議 (全国都市会館)
- 18～30日 平成27年度浄化槽管理士講習会 (日本環境整備センター)
- 20日 北陸農政局管内農業農村整備担当課長等会議 (第3回) (局広坂合同庁舎)
- 20～22日 ISO外部審査 (土地改良会館)
- 22日 石川県農業会議常任会議員会議 (県庁)
- 25日 土地改良区体制強化基本計画に係る説明会 (局野町庁舎)
- 26日 H27農業土木技術研究会研修会 (内幸町ホール)
- 28日 農家負担金軽減支援対策事業担当者会議 (東京都)
- 29日 平成27年度日本水土総合研究所調査研究発表会 (東京都)
- 同日 平成27年度換地計画実務研修 (農林会館)
- 同日 H27農業土木技術研究発表会 (地場産センター)

2月

- 1日 石川県基幹水利施設管理協議会研修会 (ホテル日航金沢)
- 8日 平成28年度土地改良施設維持管理適正化事業等実施計画の協議 (東京都)
- 同日 本省予算説明会・意見交換会 (県庁)
- 9日 土地改良区体制強化基本計画に係る説明会 (県庁)
- 10日 平成27年度農業農村工学会京都支部講習会 (県教育会館)
- 15日 北陸ブロック会議 (第2回) (金沢都ホテル)
- 16日 石川県農業活性化協議会第3回通常総会 (県庁)
- 18日 第3回監事会 (土地改良会館)

- 同日 平成27年度第2回補助版標準積算システム運用管理者説明会 (東京都)
- 19日 石川県生活排水処理施設技術報告会 (地場産センター)
- 22日 石川県農業会議常任会議員会議 (県庁)
- 23日 第3回理事会 (農林会館)
- 24日 都道府県水土里ネット事務責任者会議 (全国都市会館)
- 同日 邑知潟地区管理体制整備推進協議会通常総会 (邑知潟土改区)
- 25日 河北潟沿岸地区管理体制整備促進協議会総会 (河北潟農業研修館)
- 同日 河北潟干拓地区管理体制整備促進協議会第1回会議 (同上)
- 26日 地域環境資源センター第3回理事会 (地域環境資源センター)

3月

- 1日 全土連理事会 (砂防会館別館)
- 2日 北陸四県土連協議会事務責任者会議 (砺波市)
- 3日 平成27年度第3回全国水土里情報利活用促進会議幹事会 (砂防会館別館)
- 15日 河北潟干拓地一斉清掃 (河北潟干拓地内)
- 18日 第37回農林漁業まつり第2回実行委員会 (県庁)
- 21日 石川県立大学卒業式 (県立大学)
- 22日 石川県農業会議第60回定期総会 (県庁)
- 同日 石川県農業会議常任会議員会議 (同上)
- 23日 第58回通常総会 (土地改良会館)
- 同日 加賀三湖地区管理体制整備促進事業協議会 (J A みゆき支店)
- 25日 全国土地改良事業団体連合会総会 (都市センターホテル)
- 同日 全国土地改良事業団体連合会表彰式 (シェーンバツハ・サボー)
- 同日 平成27年度全国水土里情報利活用促進会議総会 (砂防会館別館)
- 30日 加賀三湖発電所竣工式 (現地)
- 同日 新たないしかわの食と農業・農村ビジョン策定検討会議 (県庁)

農業基盤整備資金の金利改定について

下記のとおり4月20日付けで改定されましたのでお知らせします。

◎株式会社日本政策金融公庫

(単位：%)

区分	現行	改定
県営	0.35	0.25
団体営	0.20	0.10
非補助	0.20	0.10

※災害については償還期間により利率が異なりますので、公庫にお問い合わせ下さい。

編集兼：金沢市古府1丁目197番地
 発行：石川県土地改良事業団体連合会
 電話：076-249-7181
 印刷所：(株)谷印刷

